

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000398	部名	市長公室	課名	企画課	
計画事業事業名	政策マーケティング(100人ミーティング)事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	政策マーケティング(100人ミーティング)事業						(820258)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○市がやるべき事業か？何がゴールなのか？今一度考えられたい。</p> <p>○現実施策にどの程度生かされたのか疑問である。</p> <p>○コーディネーター、ファシリテーターの有益性をどのように評価しているのか。</p> <p>○「無作為抽出の市民による議論」という手法自体は、活用の仕方によっては有益なものである。ただし、議論の結果や意見を、市政にどのようにして反映させるかの手段・経路が捉えられていなければ、ただの絵に描いた餅、意見創出もただの自己満足に終わる。その道筋ができてから、テーマと方法を詰めて実施すべきである。</p> <p>○京都府北部地域・大学連携機構への委託である必要性はあまりないのではないか。</p> <p>○本事業の目的が、「政策形成」ではなく、「研修」の位置付けになっていないか。</p> <p>○100人の参加者は多すぎるのでは、せめて50人程度で、中身を掘り下げる必要があるように思う。生涯学習講座のようにして終わってしまっているのではないか。</p> <p>○他市(小山町)では、「職員研修」の一環として本事業を実施している。</p> <p>○ファシリテーターは、福知山公立大学学生にも依頼することを検討されたい。</p>							
担当課 としての考え	<p>市民意見を十分に反映した市の各種計画を策定するための市民意見の抽出と、市民の市政への参画機会を増やすことにより「協働によるまちづくり意識」の醸成を目的として実施してきました。</p> <p>事業の内容については、無作為抽出等により募集・選出した市民100人が、グループ討議により福知山のまちづくりに関する多様な議題について深く討論するものです。</p>							
全体的な 見直し方針	<p>本事業については、廃止します。</p> <p>また、市民協働の取り組みについては自治基本条例や地域協議会の動きも合わせて今後効果的に取り組むこととします。</p>							
見直し方針区分	A 廃止							
具体的 見直し 内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業廃止(事業費全額減額△2,366千円) ・新たな市民協働事業の検討・実施 				△ 2,366		

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000400	部名	市長公室	課名	企画課	
計画事業事業名	市民提案アイデア募集事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	市民アイデア買取り事業						(820257)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ○市民意見・提案の幅広い受付方というのは重要な視点だが、それがコンテストである必要性は薄いのでは。 ○事業化の件数は極小数、アイデアが活用された件数は不明である。 ○賞金を出すのは自治の基本に反するものであり、直ちに廃止し、市民からの広聴の方策で検討すべきである。 ○アイデア査定結果をフィードバックし、市民一般に公表すれば事業の価値があがるのでは。 ○アイデアを査定するのに、「時間的労力」「人件費」がかかりすぎている。 ○同じ人が毎回複数出している現状についても考える必要がある。 ○行政職員が普段気づかないことなど再発見としては、意味があるかもしれない。 							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度から継続してきた事業であるが、応募数の伸び悩み、応募者の固定化、事業化の困難さなどの課題を認識していたところである。 ・アイデアの査定結果を市民にフィードバックしていくには、現状人員では労力的に難しいと考える。 ・賞金を出すことが自治の基本に反するという指摘に対しては、特に反論の用意はない。 ・事業の目的が、市民の協働意識向上なのか、斬新なアイデアの募集なのか、はっきりできていなかったこともあるため、事業のあり方から見直す必要があると考える。 ・市民からの公聴の機会は、他の手段において確保する必要がある。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・現行事業は廃止する。 ・市民からの事業アイデア募集方法の検討・実施 							
見直し方針区分	A 廃止							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業廃止(事業費全額減額△242) ・市民からの他の事業アイデア募集方法の検討・実施 				△ 242	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000401	部名	市長公室	課名	企画課		
計画事業事業名		地域力再編！パワーアップ支援事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)		地域力再編！パワーアップ支援事業					(820259)		
予算科目等		会計名	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見		<p>○地域協議会の設立、運営のための基本的な仕組みを整えることは必要である。</p> <p>○視察や会報の印刷代に充てられているのが大半だが、どれだけ有益だったのかは不明である。</p> <p>○市として、どのような地域協議会が、どのように地域で活動を展開し、住民自治の一翼を担うのかについて、まったく整理ができておらず、事実上丸投げになってしまっているのではないか。</p> <p>○組織立ち上げのインセンティブの意味合いがあるとは理解するが、視察がどれだけ有効なのか疑問がある。</p> <p>○三和と、他2地域との決算額の差は合理性があるとは言えず、1年1地域というくりや、市と地域協議会の関係性も含め、抜本的に見直すべきである。</p> <p>○単なる行政の下部組織または既存組織を寄せ集めた組織にとどまるならば、地域協議会をつくることに大きな意味はないと考える。</p> <p>○地域が地域でやりたいことがあるところがスタートであり、その中から行政が実施してきた既存の事業・役割も合わせて、自助で行う部分、共助で行う部分というのを切り分けていく作業を経ることが必要ではないか。</p> <p>○「地域提案交付金事業」と一緒に考えられたい。</p> <p>○地域協議会でも同一属性ではなく「①観光」「②地域包括」などの色分けを地元協議会が考える必要がある。</p> <p>○やる気のある地域には、多く交付金を出す(補助金に濃淡を出す)といった考え方も必要では。</p> <p>○「地域協議会」と「支所」の両方が権力肥大する必要はない。つまり、地域協議会が育てば、支所は、相対的に縮小するべきである。</p>							
担当課 としての考え		<p>モデル事業として地域の課題や将来のめざす姿を検討するため、地域でまちづくり協議会等の組織を立ち上げ、地域ビジョン(地域の将来像)を策定する取組をモデル地区の公募により実施しました。</p>							
全体的な 見直し方針		<p>市内のモデル地区については既に3地域設立となったので廃止します。</p> <p>今後は、委員の意見にもあるように「地域提案交付金事業」と一体とした地域に対し、新たな支援策を実施します。</p> <p>2事業合わせた交付金額【見直し前】1,500千円/1地域→【見直し後】300千円×3ヶ年/1地域</p>							
見直し方針区分		B 予算削減を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)					【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		△ 500
	平成29年度	<p>・事業廃止(事業費全額減額△500千円)※H27</p> <p>・新たな地域協議会設立に向けた事業の検討・実施</p> <p>・調書上は、統合後事業の事業費を地域提案交付金事業に一本化 交付金額【見直し前】500千円×1地域=500千円 影響額=△500千円</p>							

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000861	部名	市長公室	課名	企画課	
計画事業事業名	地域提案交付金事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	地域提案交付金事業						(820225)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○効果が測定できない。</p> <p>○この交付金があつて、初めてできたことは何なのか大いに疑問である。</p> <p>○100%補助事業であるべきか、再考が必要である。</p> <p>○「401 地域力再編！パワーアップ支援事業」と統合し、計画作成と、立ち上げ事業を一本化することにより、責任ある、自立的な運営を求めるべきである。</p>							
担当課 としての考え	<p>モデル事業として地域住民の提案と実施による、地域課題の解決や地域活性化の仕組みづくりを支援することを目的としていました。</p> <p>事業の内容としては中学校区程度の一定のまとまりのある地域において、地域活性化・定住促進等を目的に策定した地域ビジョン(地域計画等)に基づき活動を行う団体に対し、補助金を交付するものです。</p>							
全体的な 見直し方針	<p>市内のモデル地区については既に3地域設立となったので廃止します。</p> <p>今後は、委員の意見にもあるように「地域力再編！パワーアップ支援事業」と一体とした地域に対し、新たな支援策を実施します。</p> <p>2事業合わせた交付金額【見直し前】1,500千円/1地域→【見直し後】300千円×3ヶ年/1地域</p>							
見直し方針区分	B 予算削減を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	<p>・事業廃止(事業費全額減額△1,000千円)※H27</p> <p>・新たな地域協議会設立に向けた事業の検討・実施</p> <p>・調書上は、統合後事業の事業費を地域提案交付金事業に一本化 交付金額【見直し前】500千円×1地域=1,000千円…① 【見直し後】300千円×1地域=300千円…②(1年目) 影響額②-①=300千円-1,000千円=△700千円</p>				△ 700	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000209	部名	市長公室	課名	秘書課	
計画事業事業名	広報一般管理事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	広報一般管理事業						(820105)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○市政記者クラブとの良好な関係づくりと適時適切な情報発信は必要最低限である。</p> <p>○どれだけのニュースバリューがあるのか、定型的な情報提供にとどまっていないか、会見、レク、カードの使い分けは十分か検証されたい。</p> <p>○実働の費用は最小限と見なせるが、人件費については削減の余地があるのではないか</p> <p>○市長会見・担当課レク・広報カードを戦略的に行うべきである。</p> <p>→広報カードの発信から、個別取材対応もあり得るが、それに依存せず「何をニュースバリューのあるものとして提供するか」という視点と取組が必要である。</p> <p>○市はPRしたいが、記者が取り上げてくれなさそうな内容のものは、記者以外の「発信力のある人」に直接言う戦略も視野にいれてはどうか。</p>							
担当課 としての考え	<p>報道機関を通じた情報発信は、広く市政情報を伝達する手段として非常に有効なものである。戦略的な広報となるよう、企画運営を行う各職員自らが意識を持って取り組む必要があるため、職員研修を実施するなど、広報に対する意識付けを行っていく必要がある。</p>							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修を実施するなど、戦略的な情報発信に努める。 ・効率的な情報提供を検討し、人件費の削減に努める。 							
見直し方針区分	B 予算削減を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/	
	平成29年度	人件費の削減(人件費5%の削減)				-	/	

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000210	部名	市長公室	課名	秘書課	
計画事業事業名	広報ふくちやま発行事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	広報ふくちやま発行事業						(820106)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ○何のための広報誌なのか、あらためて検討・整理すべきである。 ○どの程度読まれているのか、どのようなニーズがあるのか等について、読者の実態調査をするべき。 ○発行部数からすると広告料が少ない。 ○福知山へのふるさと納税者など、現在届いていない人へも届ける工夫をされたい。 ○他市の事例をよく研究されたい。 							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・何のための広報誌なのか、課内、係内で充分検討し、同じ意識を持ちながら広報誌づくりを進めていくことは大切だと考えている。 ・広報上でアンケート調査は実施しているが、サンプル数が少ない。各課で実施しているイベントなどでのアンケート調査等での調査方法も調整していく。 ・更に魅力ある広報誌にすることで、更なる広告掲載への要望が望めると考える。 ・平成29年度事業として、「ふるさと市民制度」を取り入れ、本市に愛着と興味を抱いている方にも広報誌を送付し、本市に対する応援、貢献、協力、宣伝等をしていただくことを目指す。 ・現在でも他市の事例を参考にしながら広報誌作成に取り組んでいるところであるが、更に研究し、魅力ある広報誌づくりを目指す。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回発行から月1回に変更し、特集記事の充実を行い更に魅力ある広報誌とする。 ・全ページのカラー化を行い見やすい広報誌とする。 ・市民以外にも本市に愛着と興味を抱いている方に広報誌を届ける。 							
見直し方針区分	D 予算増を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の内容変更(カラー化等)[68千円] ・ふるさと市民制度の導入(ふるさと市民制度導入事業)[467千円] 				535		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000211	部名	市長公室	課名	秘書課	
計画事業事業名	ホームページ運営事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	ホームページ運営事業						(820107)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページの活用は今後の基軸 ○ユニバーサルデザインは不十分 ○詳細なアクセス解析を行って、傾向と対策を講じるべき ○外部評価も活用すべき ○更新対応の人件費も含めた費用は、もっと縮減できるのではないか ○ユニバーサルデザイン・スマホ・タブレット対応が必須 → 今日的な技術活用や「見やすい」「情報アクセスが容易」なwebサイトの構築を視野に入れるべき ○市政情報を届ける先と、市を紹介する先は、別の層である。両方の目があることを意識してページを作る必要がある。 							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に更新したホームページであるため、ユニバーサルデザイン、スマホ、タブレット対応となっていないのは事実である。 ・リニューアルに向けた検討を行い、早期のシステム更新を進める必要がある。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・システム更新に向けた研究を行い、H30年度にはリニューアルを実施する。 ・ホームページへの情報の掲載、内容の更新については、これまで各課からの情報提供により、秘書課広報係で一括して行っていたが、担当課がそれぞれ入力作業を行うことで、掲載内容の充実と情報提供の迅速化を目指す。 							
見直し方針区分	D 予算増を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)				【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)		/
	平成29年度	・ホームページリニューアルを目指した研究				-		/

【事業棚卸しを受けての事業見直し調書】

棚卸し年度	H28	計画事業番号	000213	部名	市長公室	課名	秘書課	
計画事業事業名	市政案内事業							
構成予算事業名 (財務会計コード)	市政案内事業						(820109)	
	市政ミニハンドブック作成事業						(820226)	
予算科目等	会計名	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費
棚卸し結果 又は 参考とした 改善意見	<p>○ミニハンドブックは不要では。掲示板は自治会に移譲されたい。</p> <p>○FM、KBSはどれだけ有効か。リスナー分布や視聴率分析等による効果測定を行うべきである。</p> <p>○FMの広告料は、聴取率等に対して適切と言えるのか検討されたい。</p> <p>○FM、KBSについては、手段として理解できなくもないが、効果がまったく見通せない。 → やめたら何か問題があるのか、という視点で抜本的に見直すべきである。</p> <p>○広報掲示板については、全市にあるものではないこと、使用方法もまちまちであることに鑑みると必要性も含めてあり方を見直すべき。</p> <p>○市政要覧は、市を端的に説明できる資料として、作成しておく必要があるのでは。</p> <p>○FMの委託料は必要なのか。災害情報は、ラジオ会社が独自の判断で流していることが少なくないため、市がお金を払って、災害情報を依頼する必要があるのか考えられたい。</p> <p>○ユーチューブなどで代用できる部分があるのではないかな。</p>							
担当課 としての考え	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニハンドブックの作成については、廃止し、それに代わる情報提供の方法を検討する。 ・掲示板は自治会に移譲する方向で検討する。 ・FM、KBSを活用した広報については、視聴率も含め、事業実施が適切かどうか、実施方法も含め検討する。 ・市政要覧については、29年度予算で作成する予定。 ・ユーチューブを使った広報は今後も積極的に実施するが、そのコンテンツを利用できない方への広報手段として、FMの活用も大切であると考えている。 							
全体的な 見直し方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニハンドブックの作成は廃止する。 ・KBSを活用した広報については廃止する。 ・市制施行80周年記念式典に併せて市政要覧を作成する。 							
見直し方針区分	D 予算増を伴う事業見直し							
具体的見直し内容	年度	見直し内容(影響額の考え方も記載)					【歳出予算上】 見直しによる 影響額(千円) (見直し前予算比)	/
	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニハンドブック作成事業の廃止(市政ミニハンドブック作成事業)[△242千円] ・KBSを活用した広報の廃止(市政案内事業)[△1,296千円] ・市政要覧の作成(市政要覧作成事業)[5,184千円] ・広報掲示板修繕料[△64千円] 					3,582	/